

価値創造のプロセス

当社グループは、グループ企業理念に基づき、これまでに積み上げてきた強みを活かし、事業活動を通じて「グループ2030年ビジョン」の達成ならびに「豊かで持続可能な未来」の実現を目指します。

私たちの存在意義

グループ企業理念

エネルギーを中心としたグループ総合力で、豊かで持続可能な未来を追い求めます

価値創造の起点は理念

様々な分析をして戦略を立案

統合的思考に基づいた戦略のもとに蓄積された強みを事業に投下

価値を生み出し続けることでビジョンに近づく

リスクと機会の抽出

機会

- ▶ カーボンニュートラルに向けた移行期における世界的なLNGの需要増
- ▶ アジアでの人口増加とCO₂削減の潮流
- ▶ 再生可能エネルギーの市場の拡大
- ▶ 海外での成長機会増
- ▶ 顧客基盤を活かしたDX活用による新サービス

リスク

- ▶ カーボンニュートラルへの対応が遅れることによる競争力の低下
- ▶ 地政学リスクに起因した原料調達への支障や価格高騰
- ▶ 自然災害の激甚化によるインフラ被害の発生増加
- ▶ 国内の人口減少による地域需要の縮小
- ▶ 環境規制やエネルギー政策の変更
- ▶ デジタル化やDX対応への遅れによる機会損失

マテリアリティは ▶ P42

ビジョン実現のための戦略

財務戦略

▶ P27

適切な資本配分と高い資本効率

事業戦略

▶ P31

非ガス分野と海外での成長

サステナビリティ戦略

▶ P41

カーボンニュートラルで地域を先導(共創)

人材戦略

▶ P51

共感度と多様性の向上

ブランド戦略

▶ P59

「わくわく」の創出に挑戦し続ける会社へ

戦略のKeywords

- 1 事業ポートフォリオの多様化
- 2 カーボンニュートラル化の推進
- 3 地域共創

リスク管理体制の強化
ステークホルダーとの建設的な対話で戦略をアップデート

グループ経営資源(積み上げてきた強み)

人的資産

エネルギーインフラを支えるプロフェッショナル

物的資産

広域供給を実現するインフラ設備

組織資産

チャレンジを応援する企業文化

顧客資産

ラストワンマイルを可能にするお客さまとの信頼関係

金融資産

強固な財務基盤による投資余力

財務諸表に載らない資産

財務諸表に載る資産

▶ P17

強みを蓄積

バリューチェーンとビジネスモデル

エネルギーバリューチェーン

世界のガス田から清水港へ

原料調達

ガスも電気も

エネルギー製造供給

企業にも家庭にも

エネルギー販売ソリューション

ガス・LPG

◆ 都市ガス販売量 1,582百万m³

◆ LPG販売量 55千t

くらしサービス

◆ くらしサービス利用件数 10.9万件

電力・再エネ

◆ 電力小売件数 9.7万件

◆ 再エネ電源開発量 3.4万kW

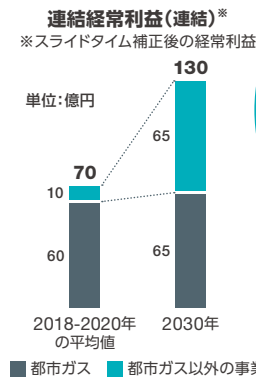
エンジニアリングサービス

◆ コージェネレーションシステム(以下、コージェネレーション) 普及容量201MW(業務用・工業用)

海外

◆ インド バイオガス事業への出資

◆ ベトナム 太陽光事業への出資



グループ2030年ビジョン

地域の皆さまと
共につくる
新しい価値創造の
サイクル

▶ P20

事業によって産み出された価値

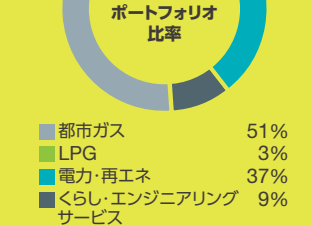
社会的価値

- ▶ エネルギーの安定かつ安全な供給 導管耐化率99%達成(単体)
- ▶ 低炭素化への貢献 CO₂削減貢献量11.7万t(2021年以降累計)
- ▶ 新興国への出資による支援とエネルギー技術の提供
- ▶ 従業員満足度の向上 エンゲージメント指数69%(単体)
- ▶ 多様な人材の採用 キャリア採用比率23%(単体)
- ▶ 女性活躍の促進 女性管理職比率11.1%(単体)

経済的価値

売上高 2,022億円 TSR 125%
経常利益 130億円 ROE 7.8%
配当総額 30億円

現在の事業ポートフォリオ比率



04

価値創造のプロセス

CONTENTS

01 INTRODUCTION
02 TOP MESSAGE
03 SPECIAL FEATURE
04 HOW WE CREATE VALUE
05 OUR VISION
06 OUR STRATEGY
07 CORPORATE GOVERNANCE

グループ2030年ビジョン



2050年カーボンニュートラルビジョン



サステナビリティ



※「バリューチェーンとビジネスモデル」および「事業によって産み出された価値」に記載された数値は2024年12月末現在

積み上げてきた資産(強み)

「見えない資産」を「見える資産」へ

「見える資産」を拡大していくためには、まずは企業文化を醸成し、同じ想いを持ったチームにしておくこと。つまり「組織資産」の拡大です。同じ想いに共感したものが集い、その仲間たちがイキイキと働くことができれば、お客さまに素晴らしい価値を提供することができます(人的資産の拡大)。そうすることで、結果的にお客さまが増え(顧客資産の拡大)、売上がアップし、設備や技術に投資することができます。このように私たちは、「見えない資産」の拡大が企業価値の拡大につながっていると考え、「見えない資産」を重視した経営を行っています。

価値創造の肝になる「見えない資産」

私たちは、100年以上の間、数々のチャレンジをしながら強みを「資産」として築き上げてきました。財務諸表に載る「見える資産」はもちろんのこと、「見える資産」を大きくする上で重要な財務諸表には載らない「見えない資産」の強化に取り組んできました。私たちは、人的資産と顧客資産およびそれ以外の見えない資産を「組織」全体に関わる資産として「組織資産」として整理しています。

※上記の数値は2024年12月末現在であり、単体の注釈がないものは当社グループの数値

財務諸表に載らない資産

人的資産

エネルギーに関連する高い専門性を持つ従業員

ガス主任技術者甲種、電気主任技術者、
エネルギー管理士、高圧ガス製造保安責任者甲種
資格保有者 延べ**493名**
※2024年12月末時点の在籍者換算

グループ従業員数

1,466名

低い離職率

4.1%(単体)

DX対応

ITパスポート保有者
510名

組織資産

見えない資産のうち、人とお客さま以外の資産

100年以上の歴史で築いてきた社会インフラを担う使命感

創立 **1910年**

前例のないことに果敢に取り組むチャレンジング・スピリット

「世界初」「日本初」の取り組みを実現

地域課題の発掘から解決までに取り組むグループ総合力

グループ会社 **29社**

地域インフラを支える企業としての自治体との関係構築

協定を結んだ自治体数 **21自治体**

頑張りや成果をたたえる文化

社長・本部長による表彰制度

アカウント数

都市ガス

327千戸

LPG

82千戸

電気

97千件

顧客資産

財務諸表に載る資産

※緊急時に相互融通する協定を締結

物的資産(インフラ)

大型LNG船の受け入れが可能である清水エル・エヌ・ジー袖師基地

貯蔵能力 **33.7万kL**

広域パイプライン

静岡県西部や関東甲信越*(東京~新潟~静岡)と
パイプライン接続

富士発電所発電能力

3.2万kW

ガス導管距離数

4,618km(単体)

再生可能エネルギー
開発容量

3.4万kW

総資産

1,702億円

純資産

1,255億円

自己資本比率

69.4%

強固な財務基盤

格付

R&I AA- S&P A

金融資産

グループ2030年ビジョン



2050年カーボンニュートラルビジョン



サステナビリティ

